

松ヶ江中学校の「SDGs」の取組



3 すべての人に健康と福祉を

令和5年度から「エコキャップウイング活動」に取り組んでいます。この取組は、飲み終わったペットボトルのキャップを回収し、再利用する際に生まれる利益を、ワクチンに変え、途上国の子ども支援に役立てる取組です。

また、令和7年度は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）が、全国の小・中・高等学校に投げかけている取組「届けよう、服のチカラ」プロジェクトにも参加し、戦争などで難民となった世界の子どもたちに服を届けようという取組を行っています。

ぜひ、ご家庭にあるペットボトルキャップ、衣服（子ども用）を、ご寄付いただければと思います。

4 質の高い教育をみんなに

松ヶ江中学校は、来るソサイエティ5.0の時代に生きる生徒たちが、未来で活躍できるようICT教育・教育DXに力を入れています。各教室にプロジェクターを設置するなどのハード面、教職員研修を通じたソフト面の充実を図っており、令和6年には、日本教育工学研究協議会（JAET）から、北九州市で初めての「学校情報化優良校」に認定されました。

8 働きがいも 経済成長も

松ヶ江中学校は、2年生時に職業体験学習を取り入れ、近隣の企業等に職業体験にしています。実際に働いている現場での体験を通して、「働くことの意義」や「将来の仕事観」について考えを深める「キャリア教育」を行っています。

10 人や国の不平等をなくそう

松ヶ江中学校は、人権教育に力を入れており、門司区中学校の人権教育を推進する拠点校です。11月には「差別問題」のかかわる授業プログラムを実践しており、12月4日から10日までの人権週間では、朝自習を使って、人権に関する諸問題について考える時間を設けています。

人権教育に関する職員研修にも力を入れており、新門司地域交流センターとも連携しながら、様々な講演会、研修会を通して、教職員の人権意識の向上を図っています。

16 平和と公正をすべての人に

松ヶ江中学校は、本校の平和教育カリキュラムに則り、7月に平和授業を行っています。1年生は「夏服の少女たち（広島原爆）」、2年生は「嘉代子桜（長崎原爆）」、3年生は「島唄（沖縄戦）」について学習し、戦争の悲惨さについて学ぶとともに、平和を愛することの大切についても学んでいます。